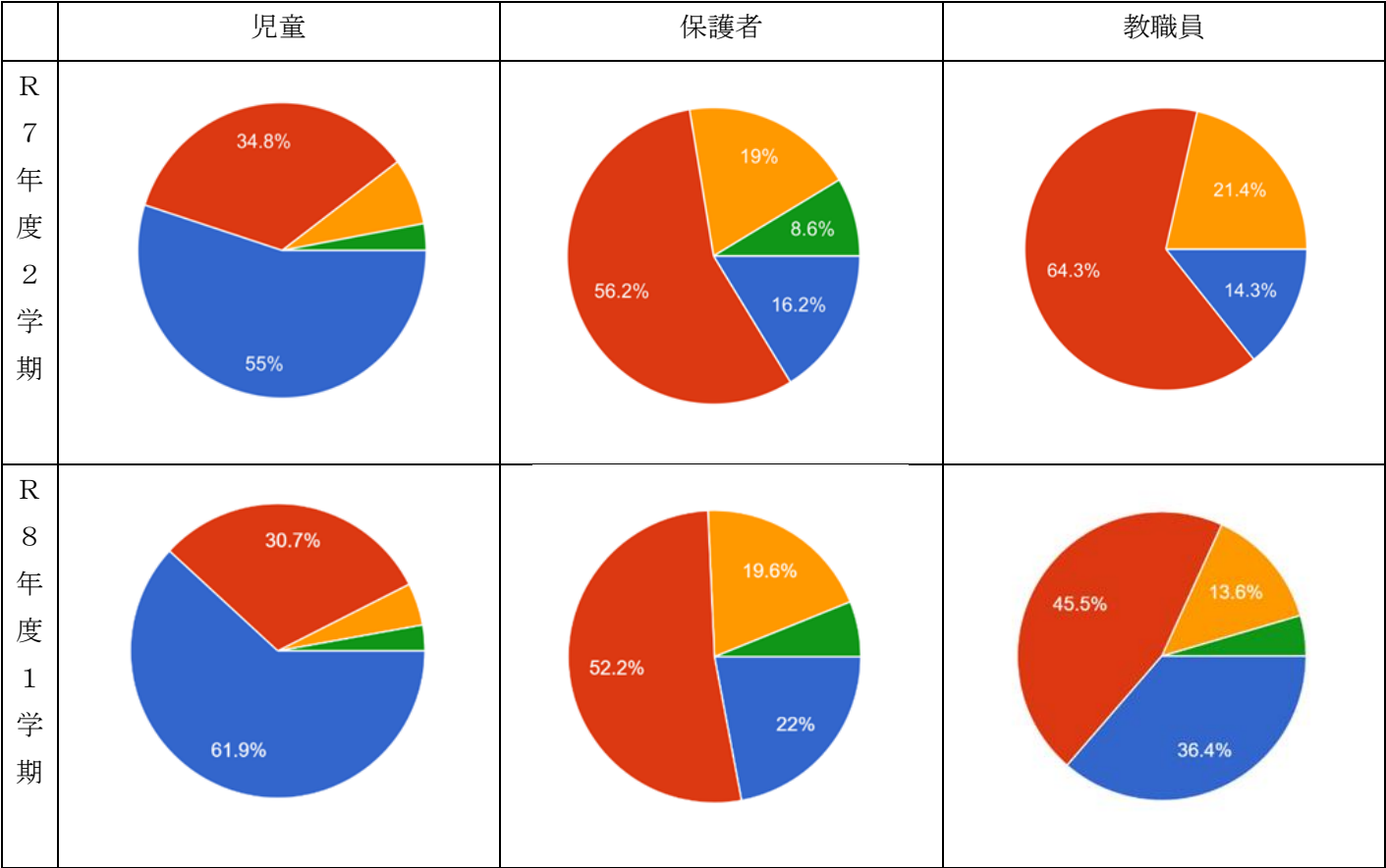


R 8 年度 1 学期学校評価アンケート（チーム担任制について）

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

「チーム担任制は子供たちのためになっている」

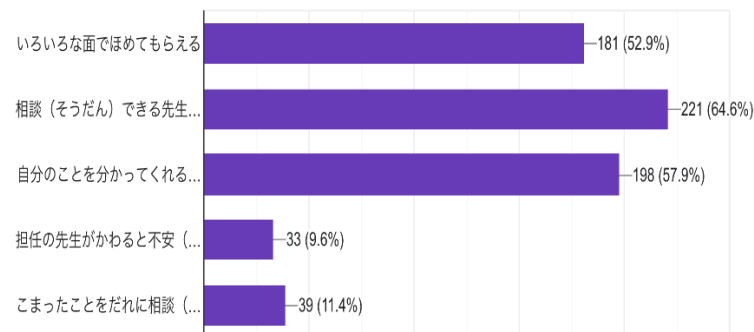


「児童・保護者・教職員の 3 者とも「そう思う」という回答が増えました。児童は 55.0 % から 61.9 % へ、保護者は 16.2 % から 22.0 % へ、教職員は 14.3 % から 36.4 % へと増加しています。また、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、児童は 92.6 %、保護者は 74.2 %、教職員は 81.9 % となっています。3 者とも肯定的な評価が高まっており、チーム担任制のよさを実感し、前向きに捉える人が少しずつ広がってきていることがうかがえます。一方で、困り感がある子にも目を向け、誰一人取り残さないことを念頭に置き、個に応じた適切な支援を心掛け、子供たちにとってよりよいチーム担任制となるよう、今後も改善を重ねていきたいと思いをします。

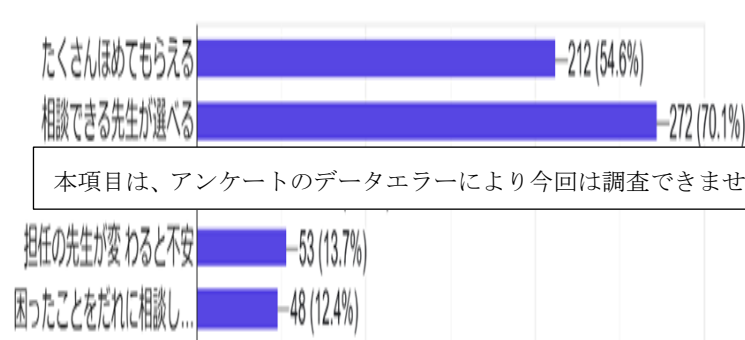
チーム担任制で当てはまると思うこと

児童

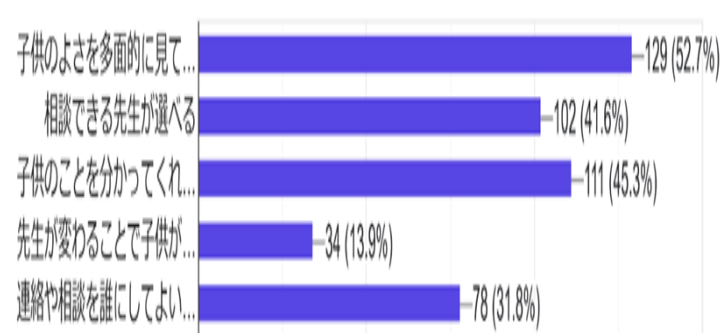
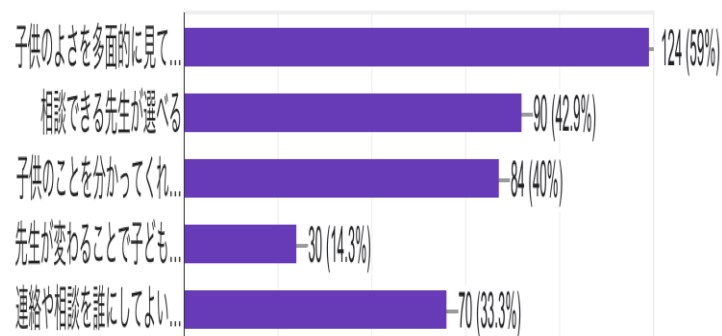
R 7 年度 2 学期



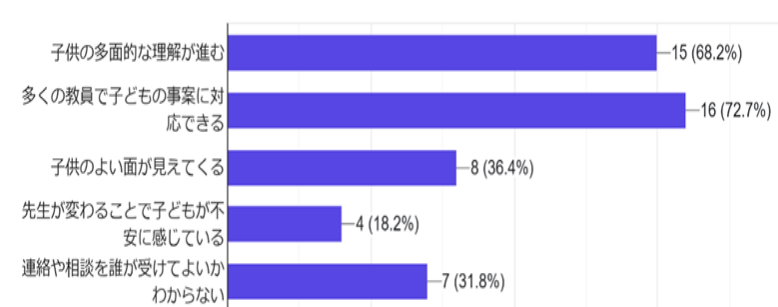
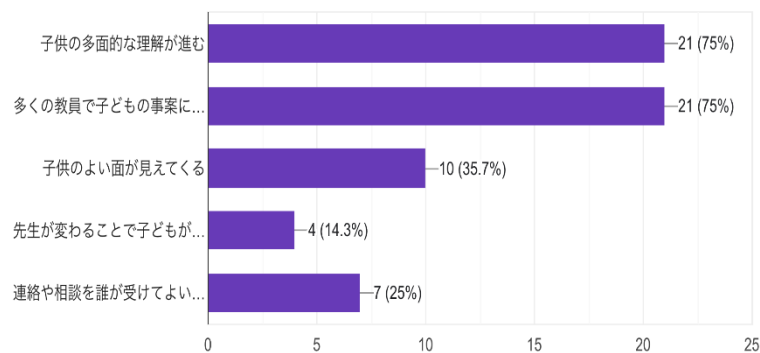
R 8 年度 1 学期



保護者



教職員



児童アンケートでは、「相談できる先生が選べる」「たくさんほめてもらえる」と感じている児童が多く、複数の先生と関わることや、いろいろな視点から見てもらえることをチーム担任制のよさとして感じていることが分かります。特に、「相談できる先生が選べる」と感じている児童は70.1%となっており、チーム担任制の中で、自分に合った先生に相談できるよさを感じている子供たちがいることがうかがえます。その他の意見にも、いろいろな先生と関わることを楽しいと感じたり、困ったときに先生を探しやすいと感じたりする声があり、こうした子供たちの実感が表れています。

保護者アンケートでは、「子供のよさを多面的に見てもらえる」「子供のことを分かってくれる先生が増える」といった項目が比較的高く、複数の教員が関わることで、子供のよさや様子を見てもらえることを肯定的に感じている保護者がいることが分かります。一方で、「連絡や相談を誰にしてよいか分からない」と感じている保護者も6.1%いました。その他の意見にも、情報共有や相談先についての不安が複数見られました。学校では、どの子供も取り残すことなく、ささいなことでも情報を共有できるよう、ノートを作成して記録を残すなど、チームで共有する取組を進めています。また、子供や保護者が相談しやすい先生を選べることに加え、同じ先生に継続して相談したいという思いにも寄り添い、必要に応じて担当を固定するなど、一人一人の状況に応じて柔軟に対応できることも、チーム担任制のよさの一つと考えています。この部分の取り組みが不足していたのかもしれませんが、そうしたチーム担任制の良さや取り組みについて知っていただき、ご理解いただけるよう努力していくとともに、ご指摘いただく不安や課題を真摯に受け止め、改善に努めてまいります。

教職員アンケートでは、「多くの教員で子供の事案に対応できる」「子供の多面的な理解が進む」といった項目が高く、複数の教員で子供を支えることのよさを感じていることが分かります。一方で、連絡や相談を誰が受けてよいかについては、まだ課題が見られます。チーム内での情報共有や連携を丁寧に進め、一人一人の子供の様子を共有していくことが大切です。

今回のアンケートから、子供たちが複数の先生と関わり、いろいろな視点から見てもらうことのよさを実感していることが分かりました。また、保護者や教職員からも、複数の教員で子供を見守ることのよさが感じられています。一方で、情報共有や連絡・相談のしやすさについては、まだ課題もあります。今後、一人一人の様子をチームで丁寧に共有するとともに、子供や保護者が相談しやすい先生を選べることで、そして必要に応じて担当を固定するなど、一人一人の状況に応じて柔軟に対応できることをチーム担任制のよさとして生かしながら、取組をよりよいものにしていきたいと思います。

チーム担任制は、子供たちに主体性と当事者意識を育むため、学校全体で支えるための取組です。これからも、保護者・地域の皆様と連携しながら、子供たちが安心して通える学校づくりを進めてまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。